





「信貴山」と聞いて直ぐに思い出すのはあの「虎」である。

伝わるところによると聖徳太子が河内稲村城に向かう時にこの信貴山で戦勝祈願をしたらしい。その日時が寅年、寅日そして寅の刻（4時頃）だったそう。戦勝祈願をした時に毘沙門天が現れ勝利の秘策を授けたとか……。そこで、毘沙門天を本尊とする朝護孫子寺を建立。又、信貴山の名前の由来は「信ずべし、貴うべき山」にあるらしい。私は阪神タイガースファンではありませんが、阪神も必勝祈願で廣田神社にお参りせず、この朝護孫子寺に来ればご利益を授

かり優勝できるのではないのでしょうか？ 今回の参加者の中で阪神ファンがおられるかどうか知りませんが、会員で阪神ファンの方、来年は例会であれ、個人山行であれ信貴山山行を企画されませんか？と問いかけた心境でした。

一昨年、高校（山口県）の同級会の世話役を仰せつかった時に信貴生駒スカイラインから見渡せる大阪の夜景、奈良の素晴らしい夜景を見せたく夕刻にこのルートを通るスケジュールを立て実現し参加者から喜ばれたことも思い出しました。

暖かい日差しを受け、少し汗ばみながら舗装された道を終え信貴山バス停から始まる千本桜並木道を抜けます。桜は当然の事ながら鑑賞できる時期ではありませんが、道の両脇にある桜樹をみると開花時期の素晴らしさが想像できます。表参道を外れ稜線を辿る地道を歩くとやがて右上方向に朝護孫子寺が姿を現し、朱塗りの信貴大橋開運橋そして張り子の虎（寅）のお出迎えです。ゆっくりと虎を見、朝護孫子寺をお参りすると、境内傍らでは七福神も待っていていました。



高安山山頂での昼食を終え下山ルートでは高安城の倉庫跡ではCLの説明もあり、また一つ知識が増えCLに感謝感謝。ところが山頂で恒例のように「集合写真」撮影を忘れてしまい、下山途中に立ち寄った「弁財天の滝」前での撮影としました。

下山ルートにある信貴山霊園ではその背景は知る由もありませんが韓人名の墓標の多さには驚きです。

下山ルートにある信貴山霊園ではその背景は知る由もありませんが韓人名の墓標の多さには驚きです。

時間に追われることもなく下山途中で、偶然にも親切な一人の登山者にナビゲートして頂き世間話をしながら淡々と道歩きを楽しみました。

やがて下山地「近鉄恩智駅」に到着。さあ 今回の反省会は？ どこで？ 電車での帰路ではあの焼肉の「鶴橋」駅もあります。参加者の一人の提案で学研都市線乗換駅「京橋」が決定され、恒例の反省会を楽しみました。

そんなこんなの信貴山山行でしたが、快晴に恵まれ登山というより観光スポットのある正に楽しいゆったりハイキングでした。CLの園上さん 有難う。

